

令和7年度 田村西部環境センター(焼却施設の維持管理の状況に関する情報)

1. 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類	項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
可燃ごみ (家庭系・事業系)	焼却量	t(ト)	357.04	1000.47	976.99	1011.75	870.54	979.01	749.32	501.73	191.81	396.58	258.23	420.41	7713.88
	合計	t(ト)	357.04	1000.47	976.99	1011.75	870.54	979.01	749.32	501.73	191.81	396.58	258.23	420.41	7713.88

2. 燃焼室中の燃料ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素濃度(連続測定の日平均値)

		単位	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼室中 燃焼ガス温度	焼却炉	℃	800℃ 以上	974	985	970	977	967	981	984	968	970	984	978	983
流入 燃焼ガス温度	焼却炉	℃	200℃ 以下	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
一酸化炭素濃度	焼却炉	ppm	100ppm 以下	7	7	7	7	8	8	6	6	7	7	6	6

単位:ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分の1を表し、主に濃度を表すために用いられる。1ppm=0.0001%

3. 冷却設備及び排気ガス設備に堆積したばいじんの除去した年月日

		焼却炉
冷却設備		令和7年4月15日
排気ガス設備		令和7年4月24日

4. 煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度

	単位	施設管理値	基準値	焼却炉
採取した年月日				令和8年1月15日
結果の得られた年月日				令和8年2月13日
ダイオキシン類測定結果	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1以下	5以下	0.04

単位:ng(ナノグラム)は、10億分の1グラム

TEQは、ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化シベンゾパラジオキサン類の毒性等量に換算した量として表した符号  
m<sup>3</sup>N(立法メートルノルマル)は、気温0℃、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

5. ばい煙濃度の測定

	単位	施設管理値	基準値	焼却炉	
				1回	2回
採取した年月日				6月17日	1月15日
結果の得られた年月日				7月31日	3月31日
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.01以下	0.15以下	-	-
全硫黄酸化物	K値	0.2以下	17.5以下	0.01	-
窒素酸化物濃度	ppm	150以下	250以下	29.6	70.9
塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup> N	163以下	700以下	50	28

単位:硫黄酸化物のK値は、硫黄酸化物の量、煙突の高さ、排ガス量等より算出  
「-」表示は定量下限値未滿